慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Appendix
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」
Publication year	2018
Jtitle	リーディングプログラム7年間の軌跡 (2017.) ,p.204- 227
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005003-00002018-0204

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

- 1. メンバー
 - 1-1. RA
 - 1-2. プログラム担当者
 - 1-3. メンター
 - 1-4. 特任教員
 - 1-5. ボード会議
- 2. 特色ある活動
 - 2-1. キャリアパス講演
 - 2-2. 夏 / 冬キャンプ
 - 2-3. プログレスミーティング

1. メンバー構成 1-1. RA

20
- 2年
度 (1
期生

名前	主専攻	副専攻	備考(就職先)
加藤 拓巳	理工学	医学	文部科学省(総合職)
段牧	理工学	商学	丸紅 株式会社
長尾 建	理工学	商学	日本マイクロソフト 株式会社
兪 浩洋	理工学	医学	キーエンス 株式会社
吉岐 航	理工学	商学	三菱電機 株式会社
安藤 大佑	理工学	商学	株式会社 日立製作所
坂本 正樹	法学	理工学	丸紅 株式会社
永嶋 弘樹	理工学	経済学	経済産業省(総合職)
山本 優理	政・メ	医学	日本 IBM 株式会社

2013年度 (2期生)

名前	主専攻	副専攻	備考(就職先)
小川 健司	理工学	医学	日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社
小西 隆介	理工学	政・メ	丸紅株式会社(総合職)
中村 雄輝	社会学	経済学	早稲田大学 講師
山田 翔士	薬学	商学	日本電気株式会社
若泉 謙太	医学	経済学	ノースウェスタン大学 ポスドク
安部 義隆	理工学	経済学	現研究室
近藤 賢郎	理工学	医学	慶應義塾大学(政・メ)特任助教
澤田 寛人	政・メ	経済学	防衛省防衛研究所
中尾 光良	薬学	商学	現在就職活動中
田中 裕樹	理工学	DD生 (ECL)	2018年9月修了予定

2014年度 (3期生)

主専攻副専攻	名前
理工学商学	池田 泰成
経済学理工学	石川 岳史
社会学医学	岡本 翔平
政・メ 経済学	小林 優一
文学 理工学	高倉 優理子
健マネ 政・メ	平尾 美佳
rai 理工学 DD生(ECN)	ブセジュラ マリク・オリヴィエ
文学 理工学	田中 里芳
健マネ 政・メ II 理工学 DD生(EC	高倉 優理子 平尾 美佳 7セジュラマリク・オリヴィエ

文系が新たなキャリアパスを開 拓した。文学と商学の学生は、2 つ目の修士号を理工学で取得し た後、後期博士課程でも理工学 を究めるという「理転」を実現 した。新しい価値創造への期待 に、産業界から注目されている。

備考

1. メンバー構成 1-1. RA

	名前	主専攻	副専攻	備考
	石川 貴啓	理工学	商学	MMD の拡張版として、本学の修
0	岡野 寿朗	理工学	DD 生(ミラノ工科大)	士号と欧州の協定大学の修士号の
$ $ $\underline{1}$	片桐 渉	理工学	DD 生 (スウェーデン王立工科大学)	2 つの学位を 3 年間で取得する
2015年度	小島 康裕	理工学	商学	DD 協定との共同運用が、部分的
度	佐野 岳史	理工学	政・メ	に始まった。4 期生からミラノエ
4	眞明 圭太	商学	医学	科大とスウェーデン王立工科大に
期	鈴木 敬和	理工学	経済学	留学した。メンターゼミは遠隔ビ
期生	高橋 貴臣	経済学	理工学	デオ会議で実施した。
	髙橋 萌	社会学	理工学	
	李 若菲	社会学	商学	
2	名前	主専攻	副専攻	備考
2 0 1	池本 駿	経済学	理工学	多様な学生の育成拡大のため、部分
6	今給黎 薫弘	理工学	商学	的ではあるが MD*型を新たに導入 した。3 年目に 2 つの修士号を取
6 年 度	角 晴美子	経済学	理工学	した。3 平日に 2 りの修工号を取 得する代わりに、後期博士課程に進
1	香西 孝司	理工学	商学	学するとともに 1 年間の留学によ
5	中島 由勝	理工学	MD* 型	┃り博士論文研究の深化と海外ネット ┃ワークの構築を図るパターンであ
(5期生)	水口 高翔	理工学	医学	る。5 期生の副専攻は、2018 年度
	横倉 瑳之	政・メ	経済学	入学予定の研究科である。
	名前	主専攻	副専攻	備考
	石田 陽一朗	商学	理工学	6 期生の副専攻は、リーディン
2	黒部 聡亮	理工学	経済学	グプログラム採用時に希望した
Q	小関 健太郎	文学	理工学	研究科である。
2 0 1 7	榊原 優真	理工学	商学	
年	篠﨑 紗衣子	理工学	政・メ	
度	嶋田 光希	医学	政・メ	
6	丁飛	法学	商学	
(6期生)	鶏内 朋也	理工学	商学	
き	早坂 若子	政・メ	文学	
	八木 賢太郎	理工学	経済学	
	米山 慎太郎	理工学	文学	

1. メンバー構成 1-2. プログラム担当者 (専任教員)

名前	所属
	├──
神成 文彦	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授
	プログラムコーディネーター
	理工学研究科・開放環境科学専攻・教授
伊藤 公平	理工学研究科・基礎理工学専攻・教授
	 (理工学部長・理工学研究科委員長)
今井 宏明	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授
大西 公平	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授
黒田忠広	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授
小池 康博	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・教授
髙山緑	理工学部・教授
戸嶋 一敦	理工学研究科・基礎理工学専攻・教授
山中 直明	理工学研究科・開放環境科学専攻・教授
伊藤裕	医学研究科・医学研究系専攻・教授
大谷 俊郎	健康マネジメント研究科・看護・医療・
	スポーツマネジメント専攻・教授
北川 雄光	医学研究科・医学研究系専攻・教授
武林 亨	医学研究科・医学研究系専攻・教授
	(健康マネジメント研究科委員長)
坪田 一男	医学研究科・医学研究系専攻・教授
戸山 芳昭	名誉教授
三村將	医学研究科・医学研究系専攻・教授
安井 正人	医学研究科・医学研究系専攻・教授
矢作 直久	医学研究科・医学研究系専攻・教授
里宇明元	医学研究科・医学研究系専攻・教授
上山 信一	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻・教授
國領 二郎	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻・教授(常任理事)
徳田 英幸	環境情報学部・客員教授
村井・純	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻・教授
	(環境情報学部長)
渡辺 光博	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻・教授

1. メンバー構成 1-2. プログラム担当者 (専任教員)

名前	所属
秋山 美紀	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻・教授
内藤 泰宏	政策・メディア研究科・政策・メディア専攻
石橋 孝次	経済学研究科・経済学専攻・教授
河井 啓希	経済学研究科・経済学専攻・教授
駒村 康平	経済学研究科・経済学専攻・教授
清家 篤	商学研究科・商学専攻・教授
早見 均	商学研究科・商学専攻・教授
八代 充史	商学研究科・教授
長谷山 彰	文学研究科・史学専攻・教授(慶應義塾長)
柏端 達也	文学研究科・図書館・情報学専攻・教授
遠山 公一	文学研究科・教授
玉井 清	法学研究科・教授
太田 達也	法学研究科・教授
田邉 孝純	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・准教授
桂 誠一郎	理工学研究科・総合デザイン工学専攻・准教授

過去のプログラム担当者 (専任教員)

名前	所属
井上 逸兵	文学研究科・英米文学専攻・教授
倉田 敬子	文学研究科・図書館・情報学専攻・教授
平野 昭	文学研究科・美学美術史学専攻・教授
明石 欽司	法学研究科・公法学専攻・教授
井上 一明	法学研究科・政治学専攻・教授
武川 幸嗣	法学研究科・民事法学専攻・教授
金子 郁容	政策・メディア研究科・教授
森川 冨昭	政策・メディア研究科・准教授

■ 1. メンバー構成 ■ 1-3. メンター

名前	所属
	日本アイ・ビー・エム株式会社 研究開発 ビジネス開発
H711 SICIES	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
	丸紅株式会社 執行役員 秘書部長 兼
<u> </u>	広報部長 慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
 村瀬 賢芳	新日鐵住金株式会社 参与 内部統制・監査部長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
	元 株式会社東京海上研究所 常務取締役研究所長
	東日本電信電話株式会社 埼玉事業部
	 群馬支店長 株式会社NTT東日本-関信越 取締役 群馬支店長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
太田 正隆	株式会社 JTB 総合研究所 コンサルティング事業部 MICE 戦略室 主席研究員
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
赤嶺 政巳	東芝リサーチ・コンサルティング株式会社 シニアフェロー
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
小杉 俊哉	合同会社 THS 経営組織研究所 代表社員
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
野本和正	ソニー(株)R&D プラットフォーム デバイス&マテリアル研究開発本部
	デバイステクノロジー開発部門 チーフ UI デバイスリサーチャー / 主幹技師
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
有吉 司	(株)日立製作所 総合教育センタ 日立総合技術研修所長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
田中徹	富士ゼロックス(株)Industry Business Solution & Service 事業本部
	技術&ビジネス主幹
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
中村で茂	川崎市市民文化局コミュニティ推進部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
南昭子	川崎市中原区役所地域みまもり支援センター担当部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター

1. メンバー構成 1-3. 過去のメンター (当時の所属)

名前	所属
鈴木 毅	川崎市 総合企画局スマートシティ戦略室 室長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
桂 晃洋	株式会社日立製作所 総合教育センタ技術研修所 所長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
本多 宏充	株式会社協和エクシオ 国際部門長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
金子 督	川崎市 総合企画局都市経営部 部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
袖山 洋一	川崎市 総合企画局 自治推進部 部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
山田 祥司	川崎市 総合企画局 自治推進部 部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
高橋 竜三	株式会社東京海上日動 HRA シニアフェロー
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
上田 理	ソニー株式会社 SGMO 管理室 チーフオープンアライアンスマネージャー
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
高橋雄一郎	特許業務法人 高橋・林アンドパートナーズ代表 弁護士
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
沢 真司	株式会社日立製作所 総合教育センタ 日立総合技術研修所 所長
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)
石渡 伸幸	川崎市 市民文化局コミュニティ推進部 部長
	慶應義塾大学理工学研究科 メンター
山崎 徹	富士ゼロックス株式会社 研究技術開発本部研究主幹
	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)

1. メンバー構成 1-4. 特任教員

名前	所属
羽鳥 賢一	プログラム総務担当
山口 正泰	理工学研究科・特任教授
石岡 良子	理工学研究科・特任講師
國尾 武光	理工学研究科・特任教授(非常勤)
Boontharm, Davisi	理工学研究科・特任准教授(非常勤)

過去の特任教員(当時の所属)

名前	所属
ミヤケ ツトム	理工学研究科・特任教授
齋藤 潤	商学研究科・特任教授
清水 創太	理工学研究科・特任准教授
Ventzek, Peter	理工学研究科・特任教授(非常勤)
鳥海 春樹	理工学研究科・特任准教授(非常勤)
渡部 大輔	政策メディア研究科・特任講師

1. メンバー構成 1-5. ボード会議

ボード会議メンバー

(2017年4月1日現在)

名前	所属		
真壁 利明	常任理事(研究担当)・リーディングプログラムボード会議議長		
小澤 英昭	NTT メディアインテリジェンス研究所 所長		
葛目 薫	丸紅株式会社 監査役		
迫田 雷蔵	株式会社日立総合経営研修所 代表取締役 取締役社長		
	株式会社日立製作所グローバル人財開発部長 兼 総合教育センタ長		
佐藤 博恒	新日鐵住金株式会社		
	常務執行役員(総務、内部統制・監査、業務プロセス改革推進管掌)		
永里 善彦	経団連 産学官連携推進部会 部会長		
	(株式会社 旭リサーチセンター 常任顧問)		
日比谷 武	経済同友会 幹事、学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長		
	(富士ゼロックス株式会社 顧問)		
丸山 孝幸	富士ゼロックス株式会社人事部長		
三浦 淳	川崎市 副市長		
長谷山 彰	常任理事(教育担当)・プログラム責任者		
神成 文彦	理工学研究科 教授・プログラムコーディネーター		
大西 公平	理工学研究科 教授・前プログラムコーディネーター		
羽鳥 賢一	理工学研究科 特任教授・プログラムオフィサー		

過去のメンバー

~	
櫻井 義人	日本電信電話(株)研究企画部門 技術渉外担当部長
加賀田 俊	日本電信電話(株)研究企画部門 R&D 推進 担当部長
森本 典繁	日本アイ・ビー・エム(株)理事 東京基礎研究所 所長
竹内 光憲	(株) 日立製作所 人財統括本部 グローバルタレントマネジメント部長

2. 特色ある活動

2-1. キャリアパス講演・特別講義

マイキャリアパス講演/特別講義 一覧

キャリアパス講演・特別講義では、RA の将来のキャリアパス設計に有益となるよう、多様な経験や価値観を有した有識者から、人生の岐路と決断、失敗からのリカバリー等をご講演いただきました。2012 年度から 2017 年度までの 5 年間で、計 92 回(延べ 99 名:産業界 51 名、国・地方自治体等 9名、アカデミア 30名、国際機関等 6名)の開催に至りました。



藤崎一郎氏 (前アメリ合衆国駐 箚特命全権大使)



2012 年度

(日本電気(株)執行役員)

No.	講師 (敬称略)	所属	講演タイトル
1	ミヤケ ツトム	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授	「Career Path: My Evolutionary Path」
2	高橋 雄一郎	メンター、慶應義塾大学理工学 研究科 特任教授(非常勤)	「私のキャリアパス」
3	Timo Ganz	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)	「私のキャリアパス」
4	Peter Ventzek	慶應義塾大学 特任教授 (非常勤)	「私のキャリアパス」
5	三浦 広志	(株)NTT データ	「東日本震災復興支援プラットホーム Sinsai.info の立ち 上げと初期の運営〜チーム ワーク形成の観点で〜」
6	真壁 利明	常任理事・ボード会議議長	「私のキャリアパス」
7	Larry Rowe	FXPAL 所長	「私のキャリアパス」
8	浜口 智	大阪大学教授	「私のキャリアパス」
9	宗像 尚郎	(株)ルネサスソリューション ズ エグゼクティブ	「デジタル化社会を支える オープンプラットフォーム」
10	永野 博	政策大学院大学 教授	「私のキャリアパス」

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
11	波多野 睦子	東京工業大学 教授	「私のキャリアパス」
12	駒村 康平	慶應義塾大学 経済学研究科 教授	「私のキャリアパス」
13	後藤 健	NHK 報道局 テレビニュース部 副部長	「私のキャリアパス」

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
1	久武 昌人	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授	「Career Path: My Evolutionary Path」
2	富塚 誠義	メンター、慶應義塾大学理工学 研究科 特任教授(非常勤)	「私のキャリアパス」
3	Ronald White	慶應義塾大学理工学研究科 特任教授(非常勤)	「私のキャリアパス」
4	鎌田 麻以子	NEC 中央研究所 C&C イノベーション推進本部	(企業から CSR の一環で、 海外青年協力隊に行った
	鎌田 麻以子	富士ゼロックス株式会社 グローバルプロダクト営業事業部	経験談を若手から聞く)
5	Jono Bacon	Ubuntu コミュニティのリーダー	Community
6	相磯 秀夫	慶應義塾大学 名誉教授	「私のキャリアパス」
7	五神 真	東大副学長(研究担当)	「私のキャリアパス」
8	Anders Karlsson	Elsevier, Vice President	My Career Path
9	藤崎 一郎	前駐米大使	「私のキャリアパス」
10	國尾 武光	NEC 執行役員	「私のキャリアパス」
11	長村 政明	東京海上日動 経営企画部 CSR 室長	My Career Path

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
1	金島 秀人	医師(医学博士)株式会社アスト ロバイオファーマ 代表取締役	「シリコンバレーにおける キャリア形成とその精神」
2	佐藤 雅俊	外務省 国際機関人事センター室長	(国際機関で働くための条件や方法、キャリアパスに
	村上 由美子	OECD(経済協力開発機構) 東京センター所長	ついて)
3	Auke Jilderda	Collabnet 社	「Inner Sourcing を 考える」
4	石原 直子	リクルートホールディングスリク ルートワークス研究所 主任研究員	「タレントマネジメントと リーダーシップ」
5	岩崎 秀明	アジア開発銀行 Southeast Asia Dept. Transport and Communications Div. Director	「My Career Path-a long and winding road」
6	瀧田 佐登子	一般社団法人 Mozilla Japan 代表理事	「Mozilla Project に見る オープン・イノベーション」
7	窪田 良	アキュセラ・インク 会長・社長兼 CEO	「私のキャリアパスと新し い時代のリーダーの条件」
8	田島 孝光	株式会社本田技術研究所 主任研究員	「革新技術で世の中を切り 開く」
9	福田 紀彦	川崎市長	「夢をあきらめないチャレ ンジ精神」
10	扇谷 忠明	興和株式会社 東京創薬研究所 主任研究員	「海外企業とのビジネス体 験」
11	竹中 透	株式会社本田技術研究所 基礎 技術研究センター 上席研究員	「本田の思想と技術」
12	永里 善彦	旭リサーチセンター 相談役日 本経済団体連合会 産業技術委 員会産学連携推進部会 部会長	「これからの世界とモノづ くり」
13	田川 博己	株式会社ジェイティービー 代表取締役会長	「人を動かす仕事、旅行業」
14	佐々木 純	新日鐵住金株式会社 技術開発本 部 プロセス研究所制御研究部長	「研究者と会社の事務職を 橋渡しする」

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

Appendix

No.	講師 (敬称略)	所属	講演タイトル
15	義本 博司	文部科学省 大臣官房 審議官(高等教育局担当)	「グローバルリーダー養成 への期待」
16	佐藤 博恒	新日鐵住金株式会社 常務執行役員 人事労政部長	「社会の変化と真のグロー バル化」
17	横田 孝	Newsweek 日本版 編集長	「メディアから見る世界の 中の日本」
18	神澤 享裕	株式会社ユナイテッドブックス 代表取締役	「好きな仕事にこだわる」

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
1	倉田 健児	独立行政法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 副理事長	「仕事」をとおした成長
2	関根 正和	Sekai Electronics, Inc. CEO/President	「アメリカで起業・世界を相手に ビジネス・ついでに世界中を旅行」
3	Kurt Deketelaere	LERU(ヨーロッパ研究大学 リーグ) 事務局長	「仕事における他者との相 互作用の大切さ」
4	佐々木 直哉	株式会社 日立製作所 研究開発グループ 技師長	「研究における他者(人や 社会)とのつながり」
5	笠井 澄人	東日本電信電話株式会社 取締役	「これまでの人生と経験、 そこから学んだこと」
6	吉村 司	ソニーコンピュータサイエンス 研究所シニアマネージャー・ チーフプロデューサー	「いかに人を巻き込むか? - 仕事の幸福論、正しい仕事 に人集まる-」
7	平井 敬二	杏林製薬株式会社 相談役	「国内中堅製薬企業での研究 者から経営者までの人生」 〜若い人たちへの期待〜
8	三宅 龍哉	富士通株式会社 常務理事 川崎工場長 兼 人材開発室長	「働き方夜明け前」
9	堤 丈晴	株式会社ジャパンタイムズ 代表取締役社長	「異文化コミュニケーショ ンとメディアリテラシー」
10	倉田 敬子	慶應義塾大学文学部 教授	「私のキャリアパス」

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

Appendix

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
11	Uwe Czarnetzki	文部科学省 大臣官房 審議官(高等教育局担当)	「グローバルリーダー養成 への期待」
12	間下 直晃	新日鐵住金株式会社 常務執行役員 人事労政部長	「社会の変化と真のグロー バル化」
13	矢野 和男	Newsweek 日本版 編集長	「メディアから見る世界の 中の日本」
14	所 眞理雄	株式会社ユナイテッドブックス 代表取締役	「好きな仕事にこだわる」
15	小澤 英昭	NTT メディアインテリジェン ス研究所 所長	「私のキャリアパス: 先 へと外へ」
16	貝沼 由久	ミネベア株式会社 代表取締役 社長執行役員	「企業経営とリーダーシッ プ」
17	Minister Leonie Muldoon	Minister (Commercial), Australian Embassy, Tokyo Senior Trade Commissioner, Tokyo/Country Manager, Japan	「マイキャリアパス講演」

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
1	多賀谷 晴敏	元 株式会社東京海上研究所 常務取締役研究所長	「What does Globalisation really mean ?」
2	安井 正人	慶應義塾大学 医学部薬理学教室 教授	「感性を磨き、一つ一つの 出会いを大切に!」
3	戸山 芳昭	慶應義塾 常任理事 慶應義塾大学 名誉教授	「超高齢社会における日本の医 療と求められるリーダー像」
4	田中 孝明	城西国際大学 ビジネスデザイ ン研究科 客員教授 (株)東芝 社友 (前執行役常務 中国総代表)	「これからの社会が求める 人材〜グローバルプロ フェッショナル〜」
5	末松 誠	国立研究開発法人日本医療研究 開発機構 (AMED) 理事長	「データシェアリングによ る医療研究開発のグロー バルな課題解決に向けて」

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

Appendix

No.	講師 (敬称略)	所属	講演タイトル
6	荒牧 國次	慶應義塾大学 名誉教授	「グローバルリーダー養成 への期待」
7	Xiao-Li Meng	Dean of the Harvard University Graduate School of Arts and Sciences	「社会の変化と真のグロー バル化」
8	長谷部 健	東京都 渋谷区長	「メディアから見る世界の 中の日本」
9	牧野 司	東京海上日動火災保険株式会社経営企画部 次長 兼 IT 企画部 参事、東京海上研究所 主席研究員	「ワクワクすると未来と、 新しい働き方」
10	Mbuli Charles Boliko	The Director of the Japanese Liaison Office of the Food and Agriculture Organization of the United Nation	"The Leadership Talent in Demand by International Organizations"
11	甲斐 英隆	アクサ生命保険株式会社 シニアアドバイザー	「グローバル企業リーダー 候補達のチャレンジと成功 シナリオに関する一考察」
12	Peter Ventzek Jim Greenwell	Marketing and tecnology,Tokyo Electron America Inc.	"Strategy and Leadership in the Semiconductor Industry "
13	有馬 利男	国連グローバル・コンパクトボードメンバー(社団)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォーム 共同代表理事富士ゼロックス(株)イグゼクティブ・アドバイザー(元社長)	「私を導いてくれたもの」
14	山内 道雄	島根県隠岐郡 海士町長 第三セクター (株) ふるさと海 士 代表取締役	「ないものはない 〜離島 からの挑戦〜」
15	Kurt Deketelaere	Professor, Institute for Environmental and Energy Law KU Leuven	Environmental, Energy and Climate Change Law

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
16	Yannis Stylianou	Professor, Department of Computer Science, University of Crete	"The Hidden Human
	赤嶺 政巳	東芝リサーチコンサルティング (株) シニアフェロー	Model"
17	福吉 潤	(株) キャンサースキャン代表 取締役	「社会を変えるマーケティ ング 」

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
1	Prof. Eva Wiberg, Prof. Viktor Owall, Prof. Olov Sterner, Mr. Richard Stenelo	Lund University Deputy Vice-Chancellor Dean Faculty of Engineering Dean Faculty of Science International Director & Deputy Executive Director	"Education, research and environment of Lund University"
2	今井眞一郎	M.D., Ph.D. Professor Washington University School of Medicine	「国際的にリーダーシップ を発揮するために重要なこ とは何か:老化・寿命研究 の最先端を交えて」
3	高橋秀明	慶應義塾大学 政策・メディア 研究科 特任教授	「キャリアは創られる、No Matter What!」
4	池野文昭	スタンフォード大学 循環器科・ 医師	「僻地医療からシリコンバ レーへ! 日本を飛び出し 16 年、今だから言える 若き皆様へのアドバイス」
5	熊谷一清	California Department of Public Health IAQ Program Chief, Lawrence Berkeley National Laboratory Affiliate Scientist 東京理科大学 客員教授	「海外で学ぶとは、海外で 働くとは」
6	津谷典子	慶應義塾大学 経済学部 教授	「現代人口と歴史人口–結婚 の要因と比較分析」
7	黒岩祐治	神奈川県知事	「夢を実現するチカラ」

2. 特色ある活動 2-1. キャリアパス講演・特別講義

No.	講師(敬称略)	所属	講演タイトル
8	坪谷ニュウエル郁子	東京インターナショナルスクー ル理事長	「教育は世界を変える」
9	田中 弘	Pacific & Atlantic PM Innovation 代表	「慶應義塾卒プロジェクトマ ネジメント界グローバル・プ レイヤーからのメッセージ」
10	坂東 眞理子	昭和女子大学 理事長	「公務員から大学へ」
11	陶山 茂樹	株式会社 OE Solutions Japan 代表取締役	「ヒトは失敗(経験)から しか学べない 失敗を恐れ ず未来ヘチャレンジ」
12	隅 修三	東京海上ホールディングス株式 会社 取締役会長	「平時の改革・グローバル 化 〜逆風を追い風に〜」
13	佐々木 経世	イーソリューションズ株式会社 代表取締役社長	『「社会的重要なテーマ」に おける事業プロデュース』
14	Prof. David Barry Graves	Department of Chemical Engineering, University of California, Berkeley	"Circumstances of US Ph.D. students of today in tackling multi-career paths"
15	Prof. Zoran Petrović	Head of department, institute of physics University of Belgrade	"My career path in light of the Changes in higher education in Eastern Europe as affected by the changing educational and employment policies in the developed world"
16	樋口 邦史	富士ゼロックス 復興推進室 室長 兼 みらい創り推進グループ長 一般社団法人遠野みらい創りカ レッジ代表理事	"学びあいの「場」が育てる地域創生" 一産官学民の協働的実践が 創出する知のネットワーク

2. 特色ある活動

Appendix

2-2. キャンプ (夏・冬)

キャンプでは、主専攻の指導教員、多様な業界の産や官のメンター、本 プログラム関係の教員等、多様なキャリアパスを有した専門家が泊まり 込みで参加し、学生に対して多角的なアドバイスを与えます。学生と教 員が互いに討論することで、学生は幅広い視野を持ち、論理的に物事を 解決する力を養うとともに、新たな気づきが得られる場となっています。 また、超成熟社会に関する課題やあり方をテーマとした議論が一貫して なされてきたことは、本プログラムの共通基盤形成に資する機会でもあ ります。

2012 年度

2012 Summer

日程: 2012年8月18日~8月19日

場所:かずさアカデミアパーク

《RA 個別発表会》 主専攻の研究や GPE の進捗や見通しについて、英語で発

表し意見交換を行った。

《講演》 プログラム教員・メンターによる講演が行われた。

2012 Winter

日程:2013年3月16日~3月17日

場所:富士教育研修所

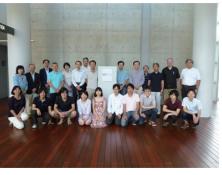
主専攻の研究や GPE の進捗、海外インターンシップ報告、 《RA 個別発表会》

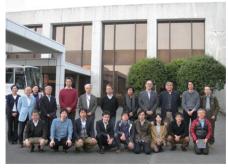
副専攻の研究について、英語で発表し意見交換を行った。

《講演》 特任教員による講演が行われた。

2012 Summer







2. 特色ある活動 2-2. キャンプ (夏・冬)

2013年度

2013 Summer

日程: 2013年8月24日~8月25日

場所:富士教育研修所

《RA 個別発表会》 1 期生は主専攻修士論文の成果、副専攻の研究の展開、

GPE の進捗状況について、2 期生は GPE であつかうテー

マについて、英語で発表し意見交換を行った。

《講演》 プログラム関係者、プログラム教員による講演が行わ

れた。

2013 Winter

日程:2013年12月21日(土)~12月22日(日)

場所:富士教育研修所

《RA 個別発表会》 GPE の進捗、共通科目「Distance Operation」での演習

について、英語で発表し意見交換を行った。

《RA ポスター発表会》 GPE の進捗についてポスター発表を行い、個別にアド

バイスや意見交換を行った。

2013 Summer

2013 Winter





ポスターを前に議論する RA、メンター、教員

2. 特色ある活動 2-2. キャンプ (夏・冬)

2014年度

2014 Summer

日程:2014年8月23日(土)~8月24日(日)

場所:慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス (鶴岡メタボロームキャンパス)

《オープンセミナー》本学タウンキャンパスのある山形県鶴岡市にて、「超成熟社会発展のサイエンスを語る」と題したオープンセミナーを開催した。本プログラム担当者 4 名の講演が行われ、市民 60 人も参加した。

《RA 発表討論 事前に、RA はグループに分かれ、様々な課題(医療コンペティション》システム、エネルギー、技術開発、観光、教育に関する課題等)について調査とその結果のまとめを行い、解決策について発表コンペティションを行った。

2014 Winter

日程:2014年12月20日(土)~12月21日(日)

場所:富士教育研修所

《ディスカッション》RA、メンター、教員がグループに分かれ、超成熟社会に 関連する3つのテーマ(外国人労働、政府予算、キャリ ア形成)について議論、発表を行った。







2014 Winter

グループごとの議論

2. 特色ある活動 2-2. キャンプ (夏・冬)

2015 年度

2015 Summer

日程:2015年8月29日(土)~8月30日(日)

場所:ラフォーレ修善寺

《英語でのグループ活動》

RA は専門、学年の異なるメンバーと協力しながら、与えられたテーマ(人間性、グローバル化等)について、英語で議論し発表した。

2015 Winter

日程: 2015年12月19日(土)~12月20日(日)

場所:クロス・ウェーブ府中

《ファシリテーション研修》

メンターの高橋竜三先生より、ファシリテーションの基本スキルを 学び、グループごとに演習を行った。ファシリテーションのスキル を使いながら、2チームごとに異なるテーマ(農業、雇用、保育制 度等)について話し合い、各テーマのパネルディスカッションを行っ た。



2014 Summer



2014 Winter

2. 特色ある活動

2-2. キャンプ(夏・冬)

2016年度

2016 Summer

日程: 2016年8月27日(土)~8月28日(日)

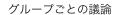
場所:丸紅多摩センター研修所

《英語でのファシリテーション研修》

2015 年度ウィンターキャンプで学んだファシリテーション手法を使い、英語で議論をする演習を行った。RA は 10 チームに分かれ、与えられたテーマ (科学技術、地方創成、政治に関する若者の意識等) について議論を行った。 共通のテーマについて議論した 2 チームごとに 5 つのセッションに分かれて発表を行った。

夏:英語でのファシリテーション研修







全体での発表会

2016 Winter

日程:2016年12月17日(土)~12月18日(日)

場所:丸紅多摩センター研修所

《英語での議論》

ディベートの技術を使い、英語で議論するスキルを身につける演習を行った。RA は賛成と反対に分かれディベートを行い、自分の意見を短い時間で論理的にまとめ、英語で述べる訓練を行った。また、各テーマについて全体で議論し、テーマへの理解を深めた。

冬:英語で議論するスキルを身につける



ディベート形式の演習



ディスカッションの様子

2. 特色ある活動

2-2. キャンプ (夏・冬)

2017年度

2017 Summer

日程: 2017年8月26日(土)~8月27日(日)

場所: 丸紅多摩センター研修所 《超成熟社会に対する提案コンペ》

本年度のサマーキャンプでは、キャンプの事前に、9チームに分かれたRAが、超成熟社会に関する課題を抽出し、フィールドワークを行いました。そして、キャンプ当日、各チームが抽出した課題に対する解決策について、



アドバイザーである教生とイザーである生とでです。修り、アリカー、修り、アウェを行い、アッシュをでいまり、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないました。

チームメンバー(左から石川、小島、岡本、丁、今給黎)

2017 Winter

日程:2017年12月16日(土)~12月17日(日)

場所:丸紅多摩センター研修所

《英語プレゼンテーション ワークショップ セミナー》

ファシリテーター: ジョン ドゥモビッチ 先生 Facilitator: Jon Dujmovich (M.A., CELTA)

2 日間、ドゥモビッチ先生がファシリテートを行い、RA は 3 種類の発表 方法で英語プレゼンテーションを行いました。また、メンター、教員、修

了生によるアドバイスを受けることで、RA は自身のプレゼンテーションの改善点がわかり、スキルアップの良い機会となりました。



ドゥモビッチ先生のレクチャー

2. 特色ある活動 2-3. プログレスミーティング

Progress Report Meetings

研究進捗状況を異分野・異業種の人にわかりやすく英語で発表する

1) こんなリーディング学生におすすめの企画です

- ・グローバルに活躍する異分野のビジネスパーソンや研究者に、研究内容や進捗状 況を英語で簡潔にわかりやすく伝えたい大学院生
- ・自分の研究の位置付けと意義を客観的に捉え説明する力を養いたい、説得力を増 したい大学院生

2) ミーティングでの役割

司会 円滑な進行、タイムキープ

発表者事前に、発表資料を共有

発表 (10~15分)、質疑応答

学生 (発表者は1回に3~4名)

聴講者 質問やコメント (Web からも feedback)

議事録担当者 質疑応答の内容を要約し、共有

教員等 学生の発言が活発になるようサポート

遠隔環境の場合はそのサポート

3) 実施上のポイント(工夫)は?

- ・発表者は、発表時間が長くならないようにして、発表内容を厳選する。
- ・専門外の聴衆に説明することの難しさを実感した上で、学会等とは違う表現で発表する。
- ・異分野の学生や教員を意図的に、学内外から集める。専門が異なるよう工夫する。

4)この企画の課題は?

- ・文学、経済学、理工学、医学等、全く異なる分野間で発表すると、困難な場合がある。
- ・約50名で週1回行うと、参加するだけで発言しない学生もでてくる。全員参加型を目指したい。

5) 修了生・学生からの声

英語でかつ初学者向けに 発表する良いトレーニン グになると思います。非 常に就活の役にも立ちま した(理工 1 期生) 定期的な英語でのプレゼ ンテーションの経験は、 特に文系学生の多くに とって貴重だと思いまし た(法学 1 期生) 他分野への理解という点では非常に良い機会だと思います。 (理工2期生)





